

# 「農林水産省知的財産戦略2020」(平成27年5月)のフォローアップ(概要版)

- 農林水産省では「農林水産省知的財産戦略」に基づき、知的財産に関する施策を推進。
- 現行の戦略は2015年から5年間を実施期間とし、地理的表示の活用によるブランド化の推進、海外市場における模倣品対策、種苗産業の競争力強化等について具体的な対応方向を策定。
- 同戦略を見直すため、現行戦略のフォローアップを実施。

2015                      2016                      2017                      2018                      2019                      2020

## 技術流出対策・ブランドマネジメント

農林水産・食品知的財産保護コンソーシアムにおいて海外での知財保護に関する啓蒙等を目的に地方セミナーを開催  
普及指導員等向けの知財マネジメントの普及啓発のための研修会を開催  
知財関係者(INPIT相談員、弁理士等)向けの研修会を開催

## 知財の活用による海外市場開拓

輸出促進ロゴマークの活用(123件)、日本食魅力発信アクションプランの取組等の実施  
JETRO等の関係機関との連携  
海外の模倣品、冒認商標出願・登録の実態把握体制の強化  
GI名称の模倣品、冒認商標出願・登録への対策支援  
EUとのGI相互保護  
英とのGI相互保護

## 国際標準の戦略的な活用

日本発の民間認証のASIAGAP(GAP)-及びJFS(HACCP)を構築し、それを国際的に通用するように普及すべく、官民が連携して推進

## 伝統や地域ブランドの活用

GIの周知、GIの保護制度開始、迅速かつ公平な登録審査の実施、登録後の品質管理の指導、不正使用の取締り等  
和牛の遺伝資源の保護対策及び育種改良を促進  
和牛2法の成立・施行  
消費者・実需者ニーズをとらえた優れた品種育成・普及、高度な生産技術の開発・普及

## 農林水産分野におけるICTの活用

熟練農業者のノウハウの見える化事業により学習システム等を整備・展開  
農業分野における名称等の標準化のための個別ガイドライン及び農業分野のデータの知的財産上の取扱いに関するガイドラインを策定、普及  
WAGRIの構築、運用

## 種苗産業の競争力強化

品種保護Gメンの活用促進、DNA品種識別技術の開発支援等による侵害対策の強化  
東アジア植物品種保護フォーラムの戦略的展開により、アジアにおける品種保護制度の整備・拡充を推進  
海外当局と審査協力の覚書締結。海外への審査結果の提供。輸出戦略上重要な新品種の海外出願を支援  
改正種苗法の成立・公布

## 研究開発における知財マネジメント

農林水産研究における知財に関する方針を策定。社会還元・農業競争力強化のための知財マネジメント推進  
農研機構地域農研センターに産学連携室を設置し、民間との共同研究を推進  
農研機構に知財部新設。公設農試に対し知財の助言等

## 知財戦略の啓発及び人材育成

普及指導員、農林水産省職員等向けの研修会を開催  
農業関係者向けの知的財産に関する「農ハウパンフレット」の作成、普及  
ASEAN諸国の主要大学で規格等の専門講座を開催